

発生・分化・再生医学特論特別セミナー

# 若山照彦博士

理化学研究所発生・再生科学総合研究センター  
ゲノム・リプログラミング研究チームリーダー

## 絶滅動物復活へ向けて -クローン技術の問題と可能性-

7月1日(水) 17:00-18:20  
疾患ゲノム研究センター1F会議室

「ジュラシック・パーク」に代表されるように、映画や小説の中ではクローン技術を駆使して絶滅動物を復活させる物語がよく描かれます。実際に、シベリアの永久凍土に眠るマンモスを復活させようという計画が世間をにぎわせたこともあります。しかし現実には、絶滅動物復活の鍵となる核移植技術が、現在のところ生きた細胞しか使えないため、不可能とされていました。若山博士らは、独自の核移植法を開発し、マウスを用いて、これまで不可能とされていた凍結死体からクローン個体を作ること的成功し、絶滅動物の復活の可能性を大きく高めました。この度、発生・分化・再生医学特論の特別講師として若山先生をお招きしセミナーを開催いたします。多数のご来聴をお待ちしております。

Cell. 137 :571-84, 2009.

Nature Med. 14: 379-381, 2008.

Nature Protocols. 1: 125-138, 2006.

PNAS USA 105:17318-17322, 2008.

Nature Genet. 39:295-302, 2007.

PNAS USA. 102:29-33, 2005.

本セミナーは大学院医科学教育部講義を兼ねます。

問い合わせ先：疾患ゲノム研究センター遺伝子実験施設(大学院医科学教育部免疫系発生学)  
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)